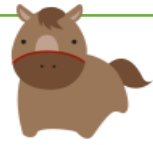




開田小学校だより



令和4年11月1日(火) 文責：北原 健吉



10月20日(木) マラソン大会



学年代表の目標発表



自分できめたコースを力走



見守ってくださった方 ありがとう

10月20日(木)に絶好の秋の日和の中、マラソン大会が行われました。たくさんの保護者の方や、地域の方が安全確保のために、コースに立って頂き応援もしていただきました。子ども達は、自分の全力で走り切ることができました。

開田小学校のマラソン大会のいいところは、「自分で走るコースを決める」ことです。学年でコースが決まるのではなく、5つのコース(最長3km最短1km)の中から選べるのです。走るのが得意な人も苦手な人も、自分に合ったコースを選択し、自分で決めたコースだから頑張ることができます。

マラソンに限らず、子ども達が一生懸命に頑張っている姿を見ると、大人は元気をもらえます。「がんばれー」と大人が応援をすることで、子ども達は自分の力をもう一段高めることができます。子ども達がいろんなことにチャレンジしていけるように、ぜひ保護者の皆さん、地域の皆さん、応援の程よろしく願いいたします。

10月13日(木) マラソン大会に向けての草刈



あっという間にきれいになりました



CS ボランティアの皆さん

13日(木)に開田高原CS(コミュニティースクール)の皆さんが、マラソン大会のコース整備のために草刈を行っていただきました。皆さんの力をお借りしたので1時間程度の作業で路肩の草や枝が払われ、走りやすい道路になりました。全校でのマラソン大会が毎年無事に行われているのは、開田高原CSの皆さんのおかげです。ますます小規模化が進む開田小学校を地域の皆さんのお力をお借りし盛り上げてまいりたいと思います。

10月18日（火） 木曽郡音楽会



2年間行われていなかった木曽郡音楽会ですが、今年は4校ずつ4部制にして行うことができました。リニューアルされた木曽文化ホールの大舞台に開田小学校の4、5、6年生が「ふるさと」と「つながる空」を披露しました。異年齢の子どもたちが心を合わせ、美しいハーモニーを響かせました。コロナ対策のため、公開せずに行われた音楽会ですが、全ての学校の合唱が木曽ケーブルテレビさんで観ることができます。ぜひ、ご覧ください。

10月27日（木） 演劇教育出前授業・連学年道徳



「ねえ！何やってるの？」



「自分の好きなこと 発見しよう」

元中学校の教師で、現在は舞台俳優であり演出家である小林英樹先生（こばちゃん）をお迎えして演劇教育のワークショップと連学年道徳の授業を行いました。

このワークショップは、数々のゲームをコミュニケーション力の向上や自分の思いを発信させることの良さを味わわせるために行います。小林先生のワークショップからは、「人と人は分かり合えない。でも、あきらめてはいけない。そして、ほんの少しでも分かり合えた時の喜びを実感しよう」というメッセージを感じました。ほとんどの子どもが「楽しかった！」と言っていました。お子さんに、ぜひ様子をきいてください。

10月28日（金） 図工科研究授業

中信教育事務所学校教育課指導主事の北澤公浩先生をお招きし、28日(金)に図工の研究授業を2年生、6年生の学年で実施しました。今年の図工科では次の2点について先生たちで考えています。「一人一人が自分の思いをもつこと」「自分の表したいものに向かって



6年生の「明かり」の授業



2年生の「わっかでへんしん」の授業

「試行錯誤していくための支援」2年生では「わっかでへんしん」、6年生では「明かり」づくりの授業を行いました。どちらの授業でも子ども一人一人の思い（願い）をどう表現させるのか、そのためにどんな支援ができるのか、授業を通して考えを深めることができました。どちらの作品も11/18の参観日に展示されると思います。ぜひご覧ください。

【保護者の皆様・地域の皆様へご連絡】

- ① 2月の開田科発表会について：今年度の開田科を令和5年2月24日（金）に実施する予定です。今年度の開田科発表会は、各クラスごとに行います。5年生のように12月の収穫祭で発表が終わっているような場合には、特に発表せず、通常の授業参観をしていただくことも考えられます。事前に学年通信や学校だよりでお知らせする予定です。ご承知おきください。
- ② 学校の電話応対について：先日、学校の電話応対について「学校では電話応対の際、名乗らないのか」という質問をいただきました。学校は多くの個人情報を経る場であることや、外部の業者セールスや特殊詐欺などのトラブル防止のため、基本的には名を名乗らないこととしています。保護者や地域の方など、電話をいただいた方（のお名前）がわかった時点で受け取った職員の名前を伝えるようにしますのでご了承ください。
- ③ 新しく、サガ綾先生を学習支援員の先生としてお迎えしました。サガ先生には、主に5年生の授業支援に入ってください。
- ④ 新型コロナが木曾郡内でも流行しています。基本的な感染症対策を続け、学校での集団感染を防ぎたいと思います。本人や家族が、かぜ症状のある時は大事をとってお休みするようお願いいたします。
- ⑤ 皆既月食観測会について
11月8日（火）18：00から21：00まで皆既月食の観測会を開田小学校昇降口前で行います。講師は木曾星の会 服部泰英さん。寒い時期ですので防寒対策をしっかりとご参加希望される方はお願いします。（なお、学校行事ではありませんので、保護者同伴でお願いします。また雨天、曇天時は中止です）
- ⑥ おもちゃ博物館の見学について
せん11月8日（火）と11日（木）の二日に分けて開田小学校では木曾町おもちゃ博物館のプレオープンに合わせて体験を行う予定です。新型コロナが木曾郡内でも流行っており、8日（火）は木曾町内の他校の児童も参加予定です。校内の感染状況によっては、中止となることも考えられます。先日の保健だよりにもありましたが、お子さんや家族の体調に不安がある場合は、無理な登校などは控えていただけるよう、ご協力お願いいたします。

学校 HP に校長講話資料をアップします

第三春山号のはく製



「さよなら 第三春山号」

校長講話で「木曾馬に守られてきた開田高原」というシリーズで話をしています。先日は、「③さよなら、第三春山号」でした。

保護者の皆さん、地域の皆さん「第三春山号」はご存知ですか？

第三春山号は、木曾馬絶滅の危機を救った昭和 26 年生まれの雄馬です。千曲市の武水別神社の御神馬（ごしんめ） 神明号と開田高原にいた雌馬の子どもです。昭和 50 年その姿を後世に伝えるために生きたまま名古屋大学に送られ、安楽死の後、はく製になりました。

私の、「木曾馬について知りたい！！」のスタートは、どんな朝も美しい風景を見せてくれる木曾馬の里で出会った木曾馬たちでした。それから、西野の県宝山下家住宅へ行き、中川剛さん（木曾馬牧場長）→学校の隣に住む木曾馬の獣医さん伊藤忍先生（今では学校の見守りのボランティアさん）→西野で木曾馬を飼う岸野さんや近藤さん→大畑さん、梶川さんなど昔を知る地域の方々→ニゴと草かっぱの会の皆さん→・・・まだまだ続きます。ぜひ、私に話を聞かせてくれる方を紹介してください。いろいろな方に話を聞いたり、「開田村史」を読んで、実際にそれを見に行ったりして、その過程で、さらに新しい方と知り合いになり、どんどんこの地が好きになります。

灯台もと暗し。一人のキーパーソンが学校の中にいることを知りました。元開田小学校の先生で、今、学習支援員として子どもたちの勉強を見てくださっている坂口純一さんです。実は、坂口さんは、第三春山号が開田高原にきた時の最初の飼い主の坂口末吉さんのお孫さんにあたる方でした。第三春山号のことをよく覚えていました。③の校長講話では、坂口先生が、実際に知っているその頃の開田高原の様子や第三春山号の賢さ、愛らしさについてお話してくれました。西野でお酒を飲んだおじいさんを無事に末川の坂口家に連れ帰り、「ひひーん」と鳴く話はみんなの笑いを誘いました。はく製にされるためにトラックで運ばれる時のお別れの様子も話をしてくれました。（このお話は、道徳の教科書や絵本になっています。その時の飼い主柘植さんが歌ったお別れの馬子唄を復元して残してくださっている開田八人衆の方々もいます。）子どもたちや職員から、「校長先生の今日のお話おもしろかった」と言ってもらえました。坂口さんのお話をきいて「思わず涙が出ました」という先生たちもいました。

私が、いろんな人に出会って、ますますこの地や木曾馬が好きになっていったように、子どもたちにも、木曾馬やこの地がもっともっと好きになってほしいのです。ご家族の皆さん、地域の皆さん、ご自分の小さかった頃のころの話、開田高原の話、自分の好きなこと、やっていること、ぜひ、子どもに話をしてください。



（左）馬子唄をうたう開田八人衆のみなさん（山下家住宅）



（左）第三春山号とのお別れ（写真提供坂口先生）